

蔵持市民センターだより



2026 年
8月号
No.512

編集・発行 蔵持市民センター Tel/fax 0595-63-0235 HP <https://www.emachi-nabari.jp/kuramochi>

蔵持市民センター事務所開所時間

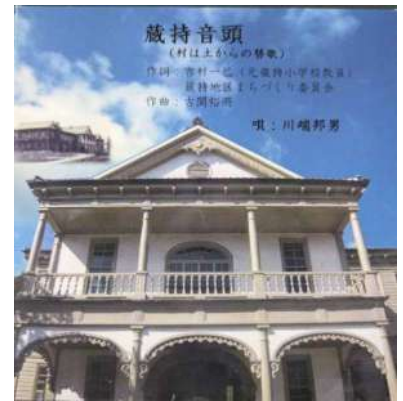
平日 9:00～16:00 ※左記時間外の対応の方は予めご連絡ください。

今日の蔵持の何気ない風景



7月26日 蔵持市民センター

名曲が、この地域に残した歌。
知られざる、地域の宝物。
作った人も、受け継ぐ人も、
みんな地域の人。



地域

「盆踊りしないのかなあ」から始まった蔵持音頭盆踊り

蔵持地区
まちづくり委員会

「盆踊りしないのかなあ」——地域のたった一人のつぶやきから、すべては始まりました。コロナ禍で各地の祭りや盆踊りが姿を消していく中、蔵持でも同じように途絶えていました。しかし気になって調べてみると、「実は、蔵持には昔から歌い継がれてきた音頭があった。」と見つかったのが蔵持音頭です。

蔵持音頭が生まれたのは昭和18年頃。当時、蔵持小学校にはまだ校歌がなく、児童たちは校歌代わりにこの蔵持音頭を歌っていたそうです。作曲は古関裕而の名曲「村は土から」がもとになり、元蔵持小学校教員の吉村一巳さんが作詞しました。歌詞には、その時々校区の地名が刻まれています。時代とともに団地ができ、校区が変わるたびに歌詞は増え、4・5番は蔵持地区まちづくり委員会によって追加されました。踊りも地域の日本舞踊の先生の手によって生まれ、平成25年には当時緑が丘区長だった川端邦男さんの唄でCD化。まさに地域の歴史と共に育ってきた音頭なのです。

一昨年、この灯を絶やすまいと動き出したのが、踊りを考案した日本舞踊の先生・石橋明美さん（里在住）でした。「年齢的にいつ教えられなくなるかもわからない」という思いを胸に、大会準備の合間を縫って指導にあたってくれました。そこに、まちじゅう元気プロジェクトのメンバーや、濱田いづみさん（緑が丘在住）をはじめとする地域の有志も加わり、名張高校放送部が撮影とDVD制作に協力。その踊りの様子は今もYouTubeで見ることができます。

こうした一つひとつの積み重ねが実を結び、去年ついに盆踊り大会が復活しました。

そして今年9月12日、実行委員会の手によって第2回目の盆踊り大会が開催されます。地域の歴史が刻まれたこの音頭で、ぜひ一緒に踊ってみませんか。



石橋明美さんが踊る
蔵持音頭 (YouTube)

8/5 (水)
13:30～14:30
蔵持市民センター 研修室

蔵持音頭練習

本番前にみんなでひと踊り！
踊れなくても大丈夫！
まずはみんなで、蔵持音頭。

9/12 (土) 17:00～20:30
蔵持小学校グラウンド

この夏、蔵持がいちばん熱くなる！

蔵持音頭でGO!!

踊って、食べて、笑って、最後は花火！

蔵持音頭に、懐かしいあの歌も。びっくり企画も準備中。